

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



水素エネルギーって



今グリーンエネルギーとして注目されている水素。その水素が作られ方で呼ばれ方が区別されているのをご存知でしょうか？(会報誌前回で紹介)水素は水を電気分解して得られますが、その際使う電気が「何で発電した電気か」によって区別されます。ところで「電気で(水素を)作って、それで(水素で)また発電するって、それなら初めからその電気(水素を作るのに使う電気)を使えばいいじゃないか」といった疑問が起きませんか？水素はタンクに貯蔵したり、パイプで送ったりすることができるのです。こうしたメリットがあるため次世代エネルギーとして注目されているのです。



SAF

以前環境トピックスのコーナーで触れた「SAF」。覚えておられますか？TVで賀来賢人が天ぷら屋さんの店主になってコマーシャルしているのを目にされた方もあるかと思いますが、SAFとは持続可能な航空燃料のことで、その原料の一つが使用済みてんぷら油と言ことで、先のコマーシャルに繋がるわけです。

2023年5月に大規模生産施設の起工式があり2025年の稼働が見込まれていましたがいよいよスタートしました。従来の燃料と比べ二酸化炭素の排出を80%程度抑えられるということです。国は2030年までに10%をSAFにと目標を掲げています。

ひとこと



米不足が深刻な問題となっていますが、今年の秋に収穫される稲が、ここサプリ村野の周辺でも青々と育っています。しかし例年だと事務所の窓から見える田んぼに、青々と広がる光景を今年は見る事ができません。ご存知の方もいると思いますが、村野駅周辺一帯が開発されることになり6月から調査が始まり9月から工事スタートということで、今年の作付はされなかったようです。人口も減少していくにもかかわらず、相変わらず開発が各地で行われています。この国はいったいどうなるのでしょうか。

こんな心配をしているのは私だけ？いやいやいっぱいおられますよね。



ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第86号

令和7年7月1日発行(年4回発行)
発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号
サプリ村野 南館2階

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者:井上 浩一 編集責任者:丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 86
夏号
令和7年
(2025年)

環境ひらかた



令和7年度 通常総会を開催しました

新年度が始まりました!



令和7年度の通常総会を5月31日、サプリ村野環境保全研修室にて開催しました。議事に先立ち井上理事長の挨拶、市長からのメッセージの紹介に続き、来賓の衆議院議員中司宏氏から祝辞をいただきました。総会への本人出席は17名と少人数でしたが、1号議案から5号議案まですべて異議無く原案通り承認され、11時15分に閉会となりました。

総会後の交流会では、普段あまり顔を合わせる事のない会員同士、和気あいあいと歓談される姿が見られました。次回は是非多くの会員さんが参加されることを期待しています。

◆ひらかた版 環境かるた大募集◆

大人も子どもと一緒に楽しめる、そしてひらかたの環境や環境の取り組みを知ることのできるような「ひらかた版 環境かるた」を大募集します。

応募特典もありますので、是非ふるってご応募ください。
(詳しくはチラシをご覧ください。)

*****目次*****

| | |
|---------------|------|
| 通常総会を開催しました | P1 |
| 今年度の事業紹介 | P2・3 |
| 部会報告 | P4・5 |
| お知らせコーナー | P6 |
| 環境トピック VOL.51 | P7 |
| 環境ミニ知識 | P8 |

今年度も“地球温暖化問題”を最優先課題と 今年度も新しい事業にチャレンジ!

地球温暖化対策事業では

地球温暖化対策推進チームでは、毎月ミーティングを開催し、温暖化対策として具体的にどのようなことに取り組んでいけばいいか、また実施した事業の振り返りについて話し合っています。結果今年度も引き続き「我が家のエコノート普及事業」「ごみ減量推進事業」を進めます。加えて「エコ行動宣言」については内容を変え下記のような形で実施していきます。

「エコ行動宣言事業」

昨年実施した「枚方から気候変動を考える ひらかたアッチッチサミット」で採択された「市民宣言」5項目を、広く市民が実践する状況を創るため、実践するかどうかを問う形で実施します。

環境講座開催事業は・・・

今年度も下の欄で紹介している環境スターター講座として「環境ミニ講座」「環境ティールーム」を、そして広く市民への環境啓発としての「くらわんか塾」を実施します。

環境講座「くらわんか塾開催事業」

今年度の「くらわんか塾」は今年秋の開催を予定しています。内容は「第7次エネルギー基本計画」に絡んで、日本のエネルギー事情やエネルギー政策と温暖化対策との関連についてなどが盛り込まれた講演会をしたいと思っています。乞うご期待!

総会後には会員交流会を行いました

各自の自己紹介では、自身の活動や知ってもらいたいこと聞きたいこと等、いろんな声や意見が飛び出るなか、和気あいあいのうちに予定していた1時間が“アッ”という間に過ぎてしまいました。



前期 *環境ミニ講座* 基本第4木曜 13:30~15:00 場所:サプリ村野

第2回 7月24日(木)

「夏の風物詩

オリジナル風鈴作り」

ペットボトルを使ったMy風鈴を作ってみませんか。風鈴の音で体感温度が下がってご存知ですか。但し涼しく感じられるのは、風鈴を経験した人だけだとか・・・

第3回 8月24日(日)

夏休み親子講座

「天の川を遊ぼう」

夏休みの最後に親子で川遊びを楽しみませんか。天の川の生きものや川の自然を知り、川を楽しむための安全講習も行います。

第4回 9月25日(木)

エコクラフト

「竹を使ってお月見飾り」

里山の厄介者「竹」成長が早く、繁殖力も強い竹ですが古来私たちは竹を使って様々な生活道具を作ってきました。今回は「お月見飾り」を作ります。

環境トピックス

Vol.51

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について

「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。

今回は、「PFASの脅威 解決策はあるのか?」「エネルギーの今!小規模太陽光発電に脚光が」です。

◆PFASの脅威 解決策はあるのか?

以前会報誌の「ミニ知識」のコーナーで紹介した「PFAS」。まだ記憶に新しいと思いますが、「それ何だっけ?」という方もおられると思うので、少し振り返って説明します。PFASは、科学的に安定していて自然界ではほとんど分解されないため「永遠の化学物質」とも呼ばれている有機フッ素化合物の総称です。私たちの身近な所のいろんなものに使われているPFASの中で「PFOS」や「PFOA」などの一部の化学物質は人体に悪影響を及ぼす危険性があると懸念されています。「永遠の化学物質」と言われているように、これらを分解するのは容易ではありません。現在分解に向け、様々な方法を用いた取り組みが進められているとのニュースが耳に入ってきます。その中の2つをご紹介します。

- ・代表的なものは焼却。但し完全に分解するには1,000度以上の高温が必要。また分解されたはずのPFASの一部が気体中を漂い、何らかのきっかけでPFOSなどが再生される恐れがある。
- ・水にPFASと半導体名の結晶を入れLEDの光を当てることで、協力が結び付いているフッ素と炭素の結合を切断するというもの。まだ実験中で2~3年はかかるそうである。上記以外には、紫外線を使う、電気を使う、微生物を使うなど様々な手法が試みられているということですが、実用化に向けた課題は大きいようです。全国各地の井戸や河川の水から基準値を超える濃度のPFASが検出されていることもあり、一日も早く分解方法が確立されることを願いたいものです。

◆エネルギーの今!小規模太陽光発電に脚光が!

カーボンニュートラル社会のためには再生可能エネルギーの拡大が課題です。従来メガソーラーと呼ばれる出力1,000kw以上の太陽光発電が各地に設置され、環境破壊など大きな問題となっています。加えて、資材コストの上昇や用地の確保の難しさなどもあり、大規模な発電所の設置は難しくなっています。そこで注目されているのが、出力50kw程度の小規模太陽光発電です。小規模であることから、工場や住宅の空き地、また耕作放棄地などを活用することで設置コストを抑えられるメリットがあるといわれています。

こうした中、総合商社の双日は、出力50kw程度の小規模太陽光発電所を来年度までに国内に3,000箇所設置すると今年6月発表しました。また同じく大手商社の丸紅は2030年までに、再生可能エネルギーを手掛けている株式会社レノバも2028年までにそれぞれ3000カ所程度の設置を目指しています。

エコ行動宣言

7月から始まる「エコ行動宣言」。今年度は2面にあるように「5つの市民宣言」から選んで宣言していただきます。この「5つの市民宣言」のことはご存知ですか？そうです。昨年開催した「枚方から気候変動を考える ひらかたアッチッチサミット」で採択された「市民宣言5項目」のことです。

宣言しただけに終わらせることなく、一人でも多くの市民が実践している枚方をめざします。是非ご参加ください。詳しくはチラシをご覧ください。



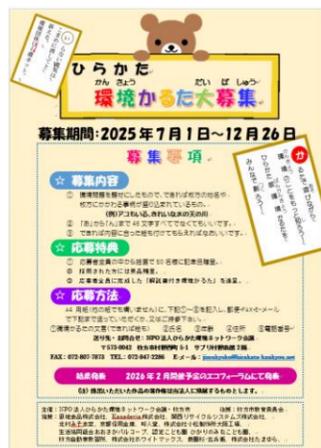
ひらかた版環境かるた大募集

身近な枚方の環境に目を向けてもらい、枚方の素晴らしい環境や、枚方の環境への取り組みなどが46枚のカルタになることで、枚方を再認識してもらえたいと思います。と同時に環境への関心が高まることを期待して大募集します。是非ふるってご応募ください。

募集期間：7月1日～12月26日

応募特典：応募者全員に「解説書付きひらかた版環境かるた」を、さらに抽選で50名に記念品を、採用者には景品を贈呈します。

※詳しくはチラシをご覧ください



公共交通部会休会に！ でも今年もやります「バス！のってスタンプラリー」

「バス！のってスタンプラリー」に長年取り組んできた公共交通部会ですが、2024年度末を以って部会長の辞任により後任不在となったため一旦休会となりました。

しかし長年親しまれてきた「バス！のってスタンプラリー」は、バスに親しむことで、公共交通の利用促進を図るための重要な取り組みであることから、環境ネットワーク会議として取り組んでいくこととしました。

今年度は、牧野高校の「バス！乗ってスタンプラリー」を通して、枚方市の魅力をより多くの方に知ってもらうと共に、地域の活性化を目指す」というテーマを掲げて集まった2年生のグループから一緒に取り組めたらとの相談をいただいています。若い世代とのコラボができたらと思っていますが、さてどうなることやら。その結果は会報誌秋号でご報告できると思います。お楽しみに！



位置づけ 様々な事業を展開していきます！



環境教育推進事業は・・・

- ・枚方市主催「夏休み親子環境講座」を実施
- ・他事業への参画や参加協力

昨年度までは環境教育推進のために、「依頼を受け出掛けて環境啓発を行う」いわゆる「出前授業」に注力してきました。今年度も勿論依頼があれば「出前授業」として依頼先に出向きますが、サブリ村野環境情報コーナー及び環境保全研修室に来てもらう形での「環境啓発授業」に軸足を置いた活動としていきます。

自然エネルギー普及啓発事業は・・・

- ・「再生可能エネルギースポット紹介リーフレット」第2弾の作成
- ・公募による「ひらかた版環境かるた」の作製

昨年度末には「再生可能エネルギースポット紹介リーフレット」を作成し発行しました。今年度はそのリーフレットの第2弾として、1刷分に4事業者を追加紹介して作製・配布する予定です。さらに今年度は広く市民から募集し「ひらかた版環境かるた」の作製を予定しています。

運営委員のご紹介

運営委員の任期は1年で、5月9日に開催された理事会で下記の9名の方々が任命されました。(敬称略)

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|-------|----------------|-------|-------------|
| 赤井 誠次 | 自然エネルギー部会 | 藤原 秀昭 | 環境教育部会 |
| 市山 二郎 | 温暖化対策プロジェクト | 丸井 晶子 | 理事会 |
| 井上 浩一 | 理事会 | 宮村 隆喜 | 温暖化対策プロジェクト |
| 末岡 妙子 | 交通タウンマッププロジェクト | 柳谷 武志 | 枚方市環境部 |
| 豊高 勝 | 理事会 | | |

任期途中ですが・・・新役員のご紹介

当法人の役員任期は2年ですので今年度は役員改選期ではありません。しかし3名の方が担当部署からの移動に伴い、任期途中ですが辞任されることになり、後任の3名の方が今回の総会で選任されましたのでご紹介します。(敬称略)

| 役職 | 辞任者氏名 | 後任者氏名 | 所属 |
|----|--------|-------|----------|
| 理事 | 高岡 督弘 | 金林 宏哉 | 関西電力株式会社 |
| 理事 | 福井 克久 | 小坂田 淳 | 大阪ガス株式会社 |
| 監事 | 伊賀 新太郎 | 竹内 雅哉 | 枚方市環境部 |

前期 *環境ティールーム* 第2木曜 10:30~12:00 場所:サブリ村野

第2回 7月10日

「どうなる？未来の地球！」

温暖化と食糧危機って関係してるの？日本の人口は減ってるけど、世界人口は近い将来100億人を超えるって？地球の未来について一緒に学びませんか？

第3回 8月14日

「未来のエネルギーを考える」

大阪・関西万博のメインテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。SAFやe-メタンよく耳にします。未来エネルギーについて考えてみましょう

第4回 9月11日

「生物の多様性と私たちの暮らし」

「生物多様性」がなぜ大切なのでしょう。私たちの暮らしとの関わり、そして環境への影響について一緒に学びませんか！



部会活動紹介

ひらかた環境ネットワーク会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。



環境教育部会

～新年度のスタートは新たな気づきを求めて～



新年度のスタートは「京エコロジーセンター」の見学と意見交流でした。同センターは1997年COP3京都会議後の2002年4月に開館し現在も多くの見学の受け入れや「エコメイト」の募集と研修を行っています。また、施設には環境に配慮した見学ポイントに「エコ虫」が貼られており、スタンプラリー形式でマークを探しながら、子どもから大人まで楽しく学べます。運営は公益財団法人京都市環境保全活動推進協会が行っており、土・日を中心に工作や料理、映画鑑賞など参加体験型の環境イベントを通して楽しく環境問題を学ぶ企画があり、さらに常設展示や環境図書コーナーでは幅広く環境学習が出来ます。今回は同センターの環境教育推進室より説明を受けた後「エコメイト」の方に施設を案内していただき、同世代の部会員には大変刺激になりました。



クイズコーナーには下の他にもいろいろとありました

太陽光発電と屋上ビオトープ

環境図書コーナー

暮らしの中で環境に優しい行動は?

家電で消費電力が少ないのは?

さて、今年度の環境出前授業ですが、今年度もメニュー冊子を小学校全校(44校)に配布し、またHPでも紹介したこともあって、学校と生涯学習市民センターから依頼が来ています。

加えて枚方市主催の「夏休み親子環境講座」がサプリ村野での開催が予定されており、環境教育部会が主体的に関わり、事務局、「自然エネルギー部会」そして「NPO法人竹取物語の会」とも連携して実施に向け準備を進めています。

皆さんもこのような活動に参加してみませんか?興味・関心を持たれた方は是非事務局までお気軽にお電話下さい。もちろんメールでも結構です!お待ちしております。

自然エネルギー部会

2024年度 最後の事業 「再生可能エネルギースポット 紹介リーフレット作成と見学会」

市内の「フロート式太陽光発電」等の見学や意見交換を通じて、 自然エネルギーへの理解をさらに深めることができました!

皆さんはフロート式太陽光発電をご存じですか?そうです!太陽光パネルが水面に浮いているんですよ!この「フロート式太陽光発電」施設が招堤にある農業用ため池“招堤新大池”と“今池”に設置されています。このほど(2024年3月13日)この「フロート式太陽光発電」施設と村野の「大阪広域水道企業団 村野浄水場」に設置されている太陽光発電、風力発電、小水力発電を見学してきました。

見学後にはサプリ村野に戻り、参加者同士での意見交換を行いました。参加者の皆さんから「ため池の有効利用は凄い。枚方市内にある他の池や全国各地に広がることを期待したい」「新大池に太陽光パネルが設置されていることは知っていたが、その内容は知らなかった。(今日知った内容を)友達に話すことができる。」といった声や「ここで発電された電気が枚方パークと樟葉モールで使われることや、この施設が、野鳥の飛来や環境保全にも配慮されていたり、農業支援にもなっていることを知った」などの発言が相次ぎ、再生可能エネルギーへの理解の深まりを感じる見学会となりました。本年度(令和7年度)も自然エネルギーの重要性や必要性、設置への理解を深めるような見学会を開催したいと思っています。

その時には案内させていただきますので参加してくださいね!

※再生可能エネルギースポット紹介リーフレットを作成しました。

ご入用の方は是非事務局までご連絡ください♪



今池



招堤新大池



村野浄水場に設置されている風力発電